

第6回八幡湿原自然再生協議会議事録

- 1 日 時 平成18年6月3日(土) 13:00～15:30
- 2 場 所 山県郡北広島町川小田 北広島町芸北文化ホール1階 多目的ホール
- 3 出席委員 委員総数36名中29名出席(末尾に出席委員一覧表記載)
- 4 議 事 報告事項
(1)八幡湿原自然再生事業の概要
(2)八幡湿原再生協議会設置要綱の改正について
(3)委員の紹介
- 議題
(1)協議会役員選出について
(2)部局会議について
(3)協議会名の変更について
(4)平成18年度委託業務について
(5)八幡湿原自然再生実施計画(案)について
(6)今後の予定について
- 5 担当部署 広島県環境部環境対策局自然環境保全室自然公園整備グループ
電話:(082)513-2932(ダイヤルイン)
広島県芸北地域事務所農林局林務第一課自然保護係(事務局)
電話:(082)814-3181(内線445～447)

6 会議の内容

開会あいさつ(広島県自然環境保全室長)

報告事(説明者:事務局)

(1) 八幡湿原自然再生事業の概要(資料1のP3～6参照)

- ・自然再生事業について
- ・八幡湿原における自然再生事業について
- ・八幡湿原再生協議会について(～平成18年3月31日)
- ・今年度の検討項目について

(2) 八幡湿原再生協議会設置要綱の改正について(資料1のP1及びP7～P10参照)

- ・八幡湿原自然再生協議会に土木の専門家及び北広島町教育委員会教育長を加えること等の八幡湿原自然再生協議会設置要綱の改正について説明した。

(3) 委員の紹介(資料1のP11～P14参照)

- ・八幡湿原再生協議会委員の紹介を行った。

議題(説明者:事務局)

(1) 協議会役員選出について

【承認事項】

- ・八幡湿原自然再生協議会設置要綱第8条第1項に基づき、委員の互選により協議会役員として、会長に中越信和委員、副会長に岡本進委員が推薦され、承認された。

(2) 部局会議について(資料2のP17~P19参照)

・八幡湿原自然再生協議会の実質的な討議を深めるために、八幡湿原自然再生協議会設置要綱第14条に基づき、A部局会議(工法検討・維持管理)及びB部局会議(環境教育・広報活動)を構成して協議を進めてきたが、今後も引き続き両部局を組織する。

・今後B部局会議においては、特に地元との緊密な連絡調整の検討も行っていく。

【承認事項】

・各委員の部局への所属は基本的には資料2のP19のとおり、各部局の代表・世話役及び検討内容は以下とする(以下の両部局会議の役職の決定は、協議会終了後の開催された両部局会議での検討内容を含む。)

A部局会議(代表:水田委員 世話役:野村委員[土木担当],和田委員[生物担当])

検討内容:事業対象地の環境把握,湿原再生のための工法の検討 など

B部局会議(代表:近藤委員 副代表:前委員 世話役:白川委員,茂田委員[ホームページ担当])

検討内容:環境教育と広報活動の検討,地元との緊密な連絡調整 など

・今回決定のそれぞれ所属の部局のみにとらわれず,相互の部局に対しても発言権を有し,出席することも可能である。

【指摘事項】

ア 広報活動について

・広報活動において、「八幡地区」「北広島町」「広島県」「日本・世界」と対象とする地域や人によって、広報の方法や有効性が違うのではないかと。

(3) 協議名の変更について(資料2のP20参照)

【承認事項】

・協議会名を「八幡湿原再生協議会」から「八幡湿原自然再生協議会」に変更する。

(4) 平成18年度委託業務について(資料2のP21参照)

【承認事項】

・平成18年度の広島県発注の委託業務について,平成18年5月31日に東和科学株式会社と契約した。主な業務内容については次のとおり。委託期間は平成18年6月1日から平成19年3月26日。

測量・・・事業対象地の詳細測量

設計・・・平成19年度から実施する自然再生事業のための設計

ホームページ作成

パンフレット作成・印刷

許認可事務・・・事業対象地内の既設水路の改築に伴う許認可事務等

八幡湿原自然再生協議会等運営補助

八幡湿原自然再生事業実施計画のとりまとめ

【継続検討事項】

ア 動物調査について

・事業対象地における動物調査については、別途協議をする。

【質疑応答】

(委員質問) 詳細測量の対象面積と縮尺は?

(事務局回答) 事業対象地域の面積は約17.56haであるが、余幅をもうけて24haを想定している。

平面測量のほか、河川測量も行う予定である。縮尺は1000分の1と500分の1を想定している。

(委員質問) 今年度の測量,設計等のスケジュールはどうなっているのか。

(事務局回答) 6～7月に測量を行い、それ以降設計に入る予定である。ホームページについては、9月に試験運用を開始し、10月から本格的に運用というスケジュールを考えている。

(委員質問) 今年度の委託業務の中に生物のモニタリングが含まれていない。また、これについては来年度以降も継続的にモニタリングする必要があると考える。

来年度以降は工事に入るので、現状を調査するには今年度が最後となる。また、工事中の変化の過程もモニタリングしていく必要がある。モニタリングのスパンは5年を単位として、15年は行いたい。

平成15～16年に自然再生事業推進計画調査を行ったが、生物に関しては十分な調査が行われなかった。このままでは動物の重要種が気づかれぬまま消えていく懸念がある。

(事務局回答) 確かに委託業務の中には含んでいない。

(委員質問) 今年度の委託業務の予算額はいくらか。

(事務局回答) 約1,800万円で計上している。

(委員質問) 協議会そのものに予算が現状ない状態であるが、今後予算の確保をどのように確保していく予定であるのか。

(会長) 本事業において、物理的な自然再生の工事は広島県が行う予定である。それ以外の部分については、今後検討させていただきたいと考えている。釧路などでは協議会で自主財源をもって運用している。本協議会でもそれが必要ということであれば、議題として検討していく必要がある。

(5) 八幡湿原自然再生実施計画(案)について(資料2のP23～P29参照)

【承認事項】

- ・平成19年度から広島県が自然再生の工事を行うためには、今年度中に実施計画の策定の必要がある。
- ・今後のタイムスケジュールでは、10月までに広島県が原案を作成し、協議会で審議を行った上で、環境省に提出し、12月頃開催予定の自然再生専門家会議にかけるとの予定である。

【質疑応答】

(委員質問) 表土の掘削や除去とあるが、どのくらいの厚みを剥ぎ取るのか。

(事務局回答) 昨年ゾーニングを行ったが、場所によって異なるので、一律どれくらいというのはいえませんが、微妙な調整が必要であることは理解している。

(委員質問) 10月までに実施計画を作成しなければならないということであるが時間的にタイトではないのか。

(事務局回答) 実施計画は、測量や設計が組みあがらないと作成できないような詳細なものではないものと考えている。

(委員質問) (自然再生が軌道にのった後) 来訪者のゴミ問題などの対応はどのようにするのか。

(事務局回答) 本地域は西中国山地国定公園内であるので、自然公園法上の規制等もできる。

(6) 今後の予定について(資料2のP30参照)

- ・7月から10月の間に協議会を2回程度行う予定。第7回協議会は7月頃に開催予定。10月に「八幡湿原自然再生実施計画」を環境省に提出。平成19年度から自然再生事業の工事を行う。

閉会

7 会議資料

次第

資料1：報告事項

八幡湿原自然再生事業の概要

八幡湿原再生協議会設置要綱新旧対照表

八幡湿原再生協議会設置要綱

八幡湿原再生協議会委員名簿

資料 2 : 議題

部局会議について

旧役割分担表(～平成 18 年 3 月 31 日)

役割分担表(案)(A 部局・B 部局)

協議会名の変更について

平成 18 年度委託業務について

八幡湿原自然再生事業ホームページ運営要綱について

八幡湿原自然再生実施計画の概要

全体構想と実施計画について

八幡湿原自然再生事業の実施手順

参考資料：神於山地区生活環境保全林自然再生事業実施計画

土嶽地区の整備について

6 月 3 日配布資料：両生類の産卵調査

カキツバタ祭チラシ

B 部局の部局会議について

出席委員一覧表（敬称略）

分野	ふりがな氏名（は代理出席）	所属等	備考
専門家(植物)	なかごし のぶかず 中 越 信 和	広島大学教授	会 長
専門家(動物)	みずた くによす 水 田 國 康	広島虫の会 会長 広島県立大学名誉教授	
専門家(土木)	のむら よし ほん 野 村 吉 春	土木学会 コンサルタント委員 西中国山地自然史研究会	
地元住民代表	こんどう こうじ 近 藤 紘 史	西中国山地自然史研究会 会長	
	まえ たて お 前 健 生	八幡地区行政区長会 会長	
公募委員 (個人)	あお き しげ 青 木 晋	(株)LAT	欠席
	うえ の よし お 上 野 吉 雄	西中国山地自然史研究会会員	
	おお た み か 大 田 実 果	ヒョウモンモドキ保護の会	
	かみて しんいち 上 手 新 一	北広島町（旧芸北町）出身	
	しらかわ かつのぶ 白 川 勝 信	高原の自然館（北広島町教育委員会） 学芸員	
	たか き しげる 高 木 茂	カキツバタの里づくり実行委員会	欠席
	たさか もとおみ 田 坂 素 臣	広島県鳥獣保護員	欠席
	なかた たかかず 中 田 隆 一	(財)日本気象協会（元気象庁予報官） NHK広島 気象キャスター	
	はし もと たく ぞう 橋 本 卓 三		
	ほり けい こ 堀 啓 子	日本山岳連盟 自然保護指導員	欠席
	まさもと よしただ 正 本 良 忠	みずえ緑地（株） 会長	
	むねおか やすあき 宗 岡 泰 昭	写真家	
	やまもと たかよし 山 本 高 義	内外エンジニアリング（株） 広島事業所長	
	よし い れい こ 吉 井 玲 子		欠席
わた なべ その こ 渡 邊 園 子	広島大学大学院 国際協力研究科		

（次ページに続く）

分野	ふりがな 氏名(は代理出席)	所属等	備考
公募委員 (団体・法人)	たかつき あきひこ 高月 明彦	特定非営利活動法人(NPO法人) 海外壮年協力隊 広島支部 副理事	欠席
	かわうち のぶただ 川内 信忠	カキツバタの里づくり実行委員会 会長	欠席
	いしい やすゆき 石井 泰行	西条・山と水の環境機構 理事長 (西条酒造組合10社で構成)	代理 まえがきひさお 前垣寿男
	ふくもと たけし 福本 健	特定非営利活動法人(NPO法人) ちゅうごく環境ネット 理事長	代理 やまさき わたる 山崎 互
	てらだ たつあき 寺田 達明	中電技術コンサルタント(株) 取締役社長	代理 おおたけくにあき 大竹邦明
	たねむら しげあき 種村 重明	(株)日本山岳会 広島支部 支部長	代理 いつき たかし 斎 陽
	おかだ たかひろ 岡田 孝裕	(財)広島県環境保健協会 理事長	代理 いわみじゅんじ 岩見潤治
	かとう まさつぐ 加藤 正嗣	広島県自然観察指導員連絡会 代表	代理 しげた こうじ 茂田幸嗣
	あらかわ じゅんたろう 荒川 純太郎	ひろしま人と樹の会 会長	代理 うねぎ たつと 畝崎辰登
	いわた かずみ 岩田 和美	八幡湿原を守る会 代表	
関係行政機関	やまくち やすひろ 山口 恭弘	環境省 中国四国地方環境事務所 自然再生企画官	
関係地方公共団体	あかもと すずむ 岡本 進	北広島町 助役	副会長
	ちんます としお 前 耕利男	北広島町教育委員会教育長	
広島県	いとう ただあき 伊藤 忠明	芸北地域事務所 農林局長	
	ときみつ ひろし 時光 博史	県立林業技術センター 森林環境部長	
	なかしげ かずろう 中重 和郎	環境生活部 環境局 自然環境保全室長	
委員総数 36名中 29名出席			